

2008年5月5日

- [ルート] 睡蓮沼⇄駒ヶ峰  
 [参加者名] 【スキー隊】 CL H.NAKAMURA 他1名  
 【つぼ足隊】 SL T.TSUSHIMA 他4名  
 [コースタイム] 起床4:30→箒場駐車場7:00→睡蓮沼7:42～7:45→ニセ駒ピーク(1185m)  
 8:35～8:42→駒ヶ峰山頂(1416m)10:01～11:00→睡蓮沼11:50～11:59  
 →箒場駐車場テント撤収12:21～12:54→グダリ沼散策13:05～13:20→  
 解散13:26

## [登山口までのアプローチ、登山口の様子]

箒場からは国道394号線『青森田代十和田線』を谷地に向かい、右折して睡蓮沼へ。青森からだど国道103号線(394号)を南下し、酸ヶ湯を通過して睡蓮沼に出たほうが近い。

駐車スペースは少ないので、この時期は早めに睡蓮沼に到着したい。

## [山行記録]

5月5日 合宿最終日。天気晴れのちややくもり。風はなし。  
 4時10分鳥のさえずりで目覚める。4時30分起床。すでに二箇所のコンロに朝食の準備。温かい珈琲一杯いただく。5時20分。早めの朝食。ラーメンを完食。昼食のサンドイッチを作り身支度を整え、2台の車で7時に箒場駐車場を出発。睡蓮沼の向かいの駐車スペースで地図とコンパスの使い方を再度学び、道路柵を越えスキー隊、つぼ足隊と続く。雪深い青森トド松の林をくねくねとぐり抜ける。余裕がでてきたのか、前の方から「名前の判らない幼虫が雪上散歩中」との声。ややゆるやかに軽快に進んでいくと開けた地点、俗に「パラダイス」なるほどと納得する。背後に北八甲田のすばらしい展望を何回も感じながら気分は最高。これでもかと山を挟むように右・左に雲海。雲海を見て「横山大観の域だね」のF.Tさんに写真の催促。にせ駒ピーク(1380m) 9時20分小休止。一度に北・南八甲田の山々、十和田山、十和利山、戸来岳、岩手山もくっきりと見えて堪能する。ここから、あと30分で駒ヶ峰だと励まされ、尾根を目指す。尾根伝いに駒ヶ峰が見えてきた。見え隠れする櫛ヶ峰。右側より直登。一步一步快調。駒ヶ峰山頂(1416m)10時2分眺望抜群。風を避け早めの昼食。サンドイッチ完食する。11時。スキー隊より下山。H.Nさん、M.Tさんのスキー隊コンビが颯爽とカッコイイ。つぼ足隊も続く。何回も先行で待つスキー隊と合流しながら右方向に寄り過ぎないように注意する。ニセ駒・パラダイス地点で小休止しながら、睡蓮沼



沼駐車場スペース着。(11時59分)小岳、高田大岳と違う静かな山でした。箒場駐車場のテント撤収(12時21分から12時45分)時間があつたのでT.Tさんの案内でバイカモ・クレソンが繁茂しているグダリ沼を散策。右の岸にカモを発見。メンバーがカモにダブリ大笑いしました。13時21分箒場にて解散。H.Nさんより3日間天気も良く無事終了できて良かった。帰りも気をつけてとあいさつ。何もかも初めての経験で、H.Nさん、T.Tさんには本当にお世話になりっぱなしでした。M.Tさんのガッツには感動しました。何より天気も味方してくれました。大自然と仲間感謝感激の合宿でした。ありがとうございました。

報告 S.TANAKA

2007年6月24日

[ルート] 猿倉温泉⇄乗鞍岳  
 [参加者名] M.KIKUCHI 他7名  
 [コースタイム] 横内P6:00→7:15 猿倉温泉 7:25→8:25 矢櫃橋 8:40→9:35 水場→  
 9:40 一の沢分岐→11:00 乗鞍岳 12:00→12:45 乗鞍分岐 12:55→13:05 水場  
 →13:50 矢櫃橋 14:00→15:15 猿倉温泉→16:15 横内P 解散

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

青森から国道 103 号線を南下し、酸ヶ湯を通過して猿倉温泉へ。奥の休憩所のところが登山口。  
 トレ有り。駐車スペースは 10 台くらい。

[山行記録]

定例山行では少ない 8 名ではりきって出発しましたが、山道をしばらく歩くと、足元や頭上に気をつけないと危険な所がいっぱいあります。私は何回倒木にぶつかったらうか？しばらく痛かったですよ！！  
 一の沢分岐から、ひなざくら、可愛い小さなミズバショウを見ながら湿原を通り、残雪の沢を登る。  
 足元では水流の速い所もあり、注意が必要。沢登りでは、残雪のおかげで登りやすく、普段は難所だそうですね。

間もなく広い雪渓に着き振り返ると、北八甲田が前面いっぱいに見え、感激しながら集合写真をとる。  
 さらに進むと、道路は笹にさえぎられ、時々進路を変える。乗鞍岳には、11 時に着く。

沢の雪がこれ以上融けると登りより時間がかかり、危険も増すので、黄瀬沼行きは断念することにする。

12 時迄の昼食タイムは、今迄にない長時間で、絶景を見ながら幸せな気分になります。南には十和田湖・戸来岳・八幡平が遠望され、岩手山もかすかに見えたそうです。

T.Tさんは黄瀬沼に向かう道を探したが見あたらず残念そうです。

下山の一の沢では、ゆっくり、ひなざくらを見たり、写真を撮ったり、水場では飲んだり持ち帰ったり、自然の中で苦労も忘れます。

タケノコのある所では、登山道のゴミも目立ち、HHさんが袋に拾いながら歩きました。

お疲れ様でした。

報告 M.TSUJIMURA

